

タブレットと私

堂本学

内容

タブレットと私.....	1
小学生の学習でつまずきポイントは？算数の場合を紹介成績が上がりやすい勉強方法...	4
小学生低学年に最適なタブレットは何？選び方も紹介成績が上がりやすい勉強方法.....	6
最適な高校生の家庭学習やり方とは？成績が上がりやすい勉強方法.....	8
まとめ.....	9
著者：つかさ.....	10

『筆者：堂本 学』は段ボール通販の[アースダンボール](#)を応援しています。

小学生の学習でつまずきポイントは？算数の場合を紹介成績が上がりやすい勉強方法

小学生の学習でつまずきやすいポイントは、各教科にはいろいろとあります。その中で低学年のうちに基礎をしっかりと学んでおかないと、後々の成績に影響してくるのです。

本記事では、小学生算数の学習でつまずきやすいポイントや、学習方法などをお伝えしていきます。

小学生が算数で習う内容・学習目的とは？小学校低学年（1～3年）の算数小学校高学年（4～6年）の算数の内容小学生の学習で算数でつまずきポイントはどこ？

小学1～3年生の算数の勉強方法くり上がり

- ・くり下がりかけ算九九わり算や分数長さ
- ・かさ・重さ文章問題小学4～6年生の算数の勉強方法分数の計算割合
- ・比・速さまとめ小学生が算数で習う内容
- ・学習目的とは？

小学生が算数の学習でつまずくポイントは、学習内容を把握しないとはいけません。

低学年と高学年の学習内容を、ザックリと紹介していくことにしましょう。小学校低学年（1～3年）の算数小学低学年では、

以下のようなことを勉強します。・たし算・ひき算・かけ算・わり算以上の基礎的な事を、最初は勉強をするのです。しかし、ここでつまずいてしまうと、中学生になった時点でメチャクチャ困ることになります。筆者も小学生の「わり算」の基礎ができていなかったのも、中学生のころは授業についていくことができなかったという経験を持っています。

そういう経験からいわせていただければ、「分からないことを、そのままにしない」という習慣を低学年で身につけていたほうが良いでしょう。小学校高学年（4～6年）の算数の内容高学年では低学年よりも少し難しくなり、「わり算の筆算」「分数や小数の四則計算」などを勉強します。高学年になると「時間の速さ」「割合や比」といった、実際に目に見えない中傷的な事についての問題が、かなり増えるのです。数学的な見方や考え方を身につけるという目的もあり、伝え合う力を養うための学習です。

社会に出ても「算数」「数学」は、必要になる場合もあるので覚えていたほうが良いかもしれませんね。

小学生の学習で算数でつまずきポイントはどこ？

小学生で勉強する学習内容が理解している前提で、次の授業が始まる「積み上がり型」の教科なので、基礎的な事をしっかり理解していないと、授業が進むにつれて理解できなくなります。筆者も経験がありますが、理解できない部分をそのままにしておくと、ドンドン分けてわからなくなります。挙句の果てに、授業内容が最初から分からなくなるので、授業がつまらなくなるでしょう

。小学生の差数でつまずきやすいポイントは、以下の通りです。

- ・繰り上げ・繰り下げの計算や、小数のわり算など「新しいルールが出たとき」
 - ・分度器やコンパスなどの「新しい道具を使うとき」
 - ・文章の読解力が足りない、計算が遅いなど『算数の理解』以外が原因になっているとき
- つまづいているポイントによっては、対処方法も違います。なので、子供が算数でつまづいている場合は、どこのポイントに当たるかを確認してサポートすると良いでしょう。

小学1～3年生の算数の勉強方法子供が現在つまづいているポイントが分かれば、どのようにサポートすれば良いのかを説明していきましょう。低学年のつまづきポイントと、勉強方法を次はお伝えしていきます。くり上がり・くり下がり小学生の算数では「くり上がり・くり下がり」を学びますが、これができるようになるためには「10のまとまり」をしっかりと意識することが重要と言えます。

「くり上がり・くり下がり」については、身近にある「おはじき」「ブロック」などを使い、いくつといくつで10になるのかを、それぞれこたえられるようになるまで練習をすると良いでしょう。少しずつで良いので、出来るようになるまで練習をすることが大切です。かけ算九九かけ算は小学生の中でも、最も重要な学習です。かけ算の基礎的な事をしっかりと理解することで、先の授業も付いていきやすくなるでしょう。

まず、子供にプレッシャーをかけることなく、楽しいと感じてもらいながら学習をすることがポイントです。

かけ算でも「九九」を覚える場合は、順番に覚えていくのも良いですが、逆から九九を言っていくとか、バラバラで九九を言ってみるなども効果的です。かけ算の九九なども、ゲーム化して覚えていくというのも良いでしょう。勉強をゲーム化する方法については、以下のページで紹介しているので読んでみてくださいね。

→成績アップを目指すなら勉強は遊び感覚でも良い！？最強の学力向上マニュアル！

わり算や分数わり算でつまづいている場合は、かけ算の問題になれば、つまづきは解消される場合もあります。たとえば、「答えが26になる九九を全部見つけよう」という問題を、繰り返し解いてみる。他にも、おはじきやブロックを使って、実際に目に見えるわり算を再現するという方法もあります。目に見えるやり方を使ったほうが、理解しやすいかもしれませんね。分数などは日常生活で結びつけると、苦手意識を克服しやすいです。

たとえば、ケーキを4等分にするとか、小さじ2分の1を計ってみるなど、実際に目に見えることで再現することで、分数の勉強に結びつけるのも良いでしょう。長さ・かさ・重さ長さや、かさ重さなどの単位変換は、「1cm=10mm、1m=100cm」という感じで、早見表のして覚えるのが一番です。こうした早見表を目につきやすいところに張り付けて置けば、覚えやすくなるでしょう。

特に「重さ」についての表記は、量などの実感がわきにくいので、1Lの牛乳パックなどを持たせて、それぞれの重さを実感させるというのも良い方法と言えます。文章問題計算問題はできても文章問題になると、苦手意識が強くなるという場合もあります。この場合は、算

数の理解というよりも国語力の不足により、問題自体の意味を理解していない可能性も考えられるでしょう。

なので、文章が理解できない場合は、問題文を声に出して読んでみるという風にするとうまいですね。問題文に登場する人物や物など、お子様の好きなものに当てはめてみるのも、イメージさせやすいかもしれません。

小学4~6年生の算数の勉強方法小学4年生くらいから、基本から応用的な問題が登場してきます。一番つまづきやすいのが、小学4年生くらいからではないでしょうか。とくに、小数点が含まれているかけ算やわり算は、つまづきやすい部分だと思われます。まず、少数の計算のルールを理解して、小数点の打ち方を正しく覚えるようにしたほうが良いでしょう。そのうえで、計算の練習を重ねていき、間違いやすい部分を見つけて行くのがポイントです。分数の計算分数の計算問題でミスしやすいポイントは、約分ではないでしょうか。

約分については忘れやすいので、2、3、5、7の素数で約分できないかを、毎回確認する習慣を身につけるほうが良いです。訳文や通分は「約数・公約数」「倍数・公倍数」が関係するので、基礎ができていない場合は学年を落としてでも理解しておくことをおすすめします。割合・比・速さ割合・比・速さなど、日常生活に関連させれば理解しやすいです。たとえば、野球の打率やサッカーのシュート率などを例にすれば、分かりやすいかもしれません。早さについては、子供の通学時間などを例えると、結構分かりやすくなるでしょう。

「自宅から学校まで500mあるけど、歩いて10分かかるとすれば分速何m歩いている？」という感じで、身近な距離と速さを問題にするのも良いでしょう。

まとめ

小学校の算数は積み上がり型の学習方法なので、つまづいている部分を見つけたら、すぐに対処しないといけません。そのまま放っておくと、ドンドン取り残されてしまいます。さらに、細かいつまづきポイントを把握するためにも、間違いノートをつけさせることを習慣づけさせましょう。

小学生低学年に最適なタブレットは何？選び方も紹介成績が上がりやすい勉強方法
家庭用学習において、タブレットは必須アイテムになろうとしています。

また、オンライン授業などを採用している塾も、最近は珍しくなくなってきました。子供向けタブレットというのは、キッズモードにして子供に使用させる方法を言います。

本記事では、小学生低学年におすすめのタブレットや、子供に与えるべきタブレットの選び方についてお伝えしていきます。

小学生低学年にタブレットは必要？不要？子供に与えるタブレットの選び方子供に与えるタブレットは中古と新品どっちが最適？

小学生低学年にタブレットは必要？不要？小学生低学年にタブレットは必要なのか、それ

とも不要なのか？実際の現場では、そのような議論は全くありません。

ただ、ニュースに取り上げられた時に、外野の関係ない人々から「不要だ」という意見が飛び交うくらいですね(笑)今の時代は、タブレットは必須のアイテムになりつつあり、学習をするうえで無くてはならない物へと変化しているのです。確かに、タブレットは色々な誘惑があるので、親としては不安要素がかなり大きいかもしれません。

しかし、タブレットは使い方によっては、広い視野を持ち学習をすることができるアイテムになるのです。そう考えると、小学生低学年からは、タブレットは必須のアイテムと考えるのも良いでしょう。子供に与えるタブレットの選び方子供用に与えるタブレットは、使用目的や年齢によっても選び方や機能についても違いが出てきます。画面サイズは見やすさを考慮して、サイズは大きめが良いでしょう。持ち運びがしやすく、子供にとって重さがあり感じないものが良いですね。

子供が成長していくたびにタブレットを買い替えるのも、お金の無駄になります。子供の成長を考えて8インチくらいのサイズが、最も適切だと考えられます。8インチサイズのタブレットは、一般的な子供用タブレットよりも大きめですが、子供が成長しても引き続き使えるでしょう。

機能についても、キッズモードを選べたり、機能制限ができるモデルを選ぶと良いですね。

小学生向けのタブレットに搭載されていたほうが良い機能は、以下の通りです。・利用時間・利用時刻の制限・年齢範囲の設定によるアクセス制限・タブレット使用状況のレポート利用可能なアプリやアクセスできるサイトを制限したり、利用時間を制限することができれば、子供だけで使わせるのも安心できますよ。

実際に、子供が勝手にアプリをダウンロードしたり、変な SNS に登録してしまうことでトラブルに発展することもあります。そうしたトラブルを未然に防ぐためにも、上記のような機能制限はあったほうが良いでしょう。子供に与えるタブレットは中古と新品どっちが最適？子供に与えるタブレットは、必要最低限の機能だけで良いなら中古でも問題はないでしょう。単なる学習をするためだけに買い与えるなら、9000円未満のタブレットでも良いかもしれません。ただ、オンライン授業を受けるという場合は、安さだけを求めると映像が動作しない場合もあります。

なので、少しは性能の高めのタブレットを選んだほうが、良いでしょう。

使用用途によっては中古が良い場合もありますし、新品のほうが良い場合もあります。いずれにしても、オンライン授業で使用するという場合は、「ストレージ：16GB メモリ：1GB」ほどあれば十分ですね。筆者がおすすめするタブレットは、「Fire HD 8」B07WJSJ28Xです。B07WJSJ28X Fire HD 8 タブレット ブラック というタブレットは、コスパを重視する方に最適といえます。HD (1280×800 ピクセル) の解像度で 2GB のメモリを備えており、オンライン授業を受ける場合に適しているのです。ストレージは 32GB と少ないのですが、1TB までの microSD カードに対応しています。最大 12 時間の長稼働バッテリーも、搭載しています。

まとめ

子供にタブレットを持たせることに、反対する人もいるかもしれません。確かに、学習と関係ない動画やゲームに使う場合もありますし、外で遊ぶ機会も減ってしまう可能性も考えられます。ですが、タブレットは外に出なくても、オンライン授業を受けることができるので、子供を危険にさらすこともなくなるのです。交通事故や誘拐など、塾に通わせるリスクは大変大きいのです。そう考えると、タブレットを使った学習をするメリットのほうが、大変大きなものと感じますよ。

最適な高校生の家庭学習やり方とは？成績が上がりやすい勉強方法

コロナウイルスによる感染拡大を防止するために、全国の小中高・特別支援学校等は休校や、短縮授業などの対応がありました。

進学を目指している高校生にとっては、休校というのは学習の遅れや受験などにも影響を与える可能性があります。先の見通せない状況の中で、どういう状況になっても学びを進めるために、高校生の家庭学習のやり方についてお伝えをしてきましょう。

最適な高校生の家庭学習やり方とは？

習慣化学習環境を整えるオンライン学習を活用する自宅学習のサポート教材を活用しよう
まとめ最適な高校生の家庭学習やり方とは？

コロナウイルスの影響で休校になり、家庭学習をしている人もいないのでしょうか。自宅での学習効果を上げたいという場合は、効果的な学習方法を行っていくほうが良いです。しかし、その「効果的な学習方法」とはどのようなものなのかについて、紹介をしていきましょう。習慣化勉強とは、無理をしないで行うことが大切です。勉強ができる子は、夜遅くまで勉強をしているように思われますが、実際は勉強をする時間と寝る時間はキッチリと分けて生活をしています。

つまり、深夜まで勉強をしても、記憶に定着しないので翌朝にはすべてを忘れてしまう可能性もあります。さらに、無理をすることで最高のパフォーマンスで、受験に挑むこともできない場合もあるのです。

だからこそ、起床して食事をするという時間は、常に固定して入試本番を意識した生活リズムを目指す必要があります。受験前になって無理な計画を立て、深夜まで勉強をしても疲れが残るばかりで良いことはありません。自宅学習の習慣を身につけるためには、毎日何らかの勉強をする時間を設ける必要があるのです。

受験前に無茶な勉強をするよりも、長期的な目をもって、健康第一で自宅学習をするほうが良いでしょう。そして、1日の予定を書き込むために、スケジュール帳を用意すると良いでしょう。スケジュール帳には学習を開始する時間や、自宅学習に集中する日などを記載して

いきます。スケジュール帳に休憩時間や、学習を開始する時間を書き込んでいくと良いかもしれません。

タスクの視覚化を行うことで、何をすべきかが明確になります。筆者も、何か作業をするときはスケジュール帳を用意し、何をすべきかを書き込んで行くようにしています。そうすることで、その日に何をすべきなのかが見えるので、予定通りの学習がやりやすくなるのです。出来たものにはチェックをしていくことで、達成感を味わうこともできます。

現在はアプリでも学習管理ができるので、ネットで学習計画票を印刷して使ってみると良いでしょう。自分のやる気アップのために、ツールを有効に使って学習計画を立てるようにしましょう。学習環境を整える自宅学習をする場合は、勉強に集中できない場合が多いです。理由は、スマホやテレビ、アニメの本など誘惑がたくさんあるからです。

パソコンやスマホは、膨大な情報をもたらしてくれますが、使用しているといつの間にか時間だけが過ぎていくことが良くあります。勉強をする部屋には、集中力を奪うものは置かないようにしましょう。

オンライン学習を活用する自宅学習を習慣化するには、メリハリが必要です。しかし、一人ではスケジュールを立てにくいという場合は、自宅からでもプロに勉強を教えてもらうという方法があります。当ブログでおすすめするのは「スタディコーチ」という、オンライン学習です。スタディコーチでは、専属の現役東大生による、徹底的な指導を受けることができます。生徒一人一人に最も適している学習計画で、勉強を継続させるのです。

学年や現在の成績をもとに、オーダーメイドの学習カリキュラムを提案します。自宅で集中できる環境が欲しいという場合は、「オンライン自習室コース(9800円)」がおすすめです。自宅学習のサポート教材を活用しよう高校の授業進度や子供の学年によりますが、教科書や課題のみではスムーズに理解することがむづかしいです。

家庭学習でおすすめする方法は、教科書を中心に勉強をしていきながら、分かりにくい部分も積極的にサポート教材を活用するほうが良いでしょう。サポート教材とは、民間の通信教育やスマホアプリで視聴できる動画などの教材です。それらのサポート教材をうまく活用することで、効率よい家庭学習が可能となるでしょう。

まとめ

今回の記事では、高校生の家庭学習のやり方について、お話しさせていただきました。家庭学習をするにしても、無理な学習計画を立てるのは逆効果です。受験前に猛勉強をするというの、やはり何か違うように思えるのです。高校生の家庭学習は、受験勉強をする前の下積みみたいなもので、無理をしないで一つ一つ記憶に定着していくことが重要です。本記事で紹介したオンライン学習「スタディコーチ」も、検討してみたいはいかがでしょうか。

著者：つかさ

日頃考えていることをつらつら書いています。少しでも共感してくれる人や日々のお役に立てばうれしいです(^▽^)/